

サイバー瓦版

岡山県警察本部
サイバー犯罪
対策課発行
086(234)0110
pcyber@pref.okayama.lg.jp

ふっしんぐに

御用心!



志

式

参

実在する組織を装い、アカウントのID、パスワード、クレジットカード番号などの個人情報盗み取るものです。

メール(SMS)の本文に記載されたURLリンクから偽のウェブサイトに誘導し、個人情報を入力させるのが一般的な手口です。令和6年中、フィッシング対策協議会に報告されたフィッシングの件数は、

170万件

を超えており、5年前の数十倍に激増しています。

■クレジットカード不正利用
令和6年中の被害額は約5555億円
(日本クレジット協会調べ)

■不正送金

インターネットバンキングの不正送金被害のうち約9割はフィッシングが原因。

令和6年中の被害額は

約87億円

■アカウント乗取り、個人情報流出

乗ったアカウントは犯罪に悪用されるほか、様々な個人情報が流出。

知らざあ言って聞かせやしょう

■証券口座不正取引

令和7年に入り急増
証券口座を乗っ取られて、不正な取引が行われ、資産が激減!

参

▼なりすましメール

大手通販サイト、金融機関、クレジットカード会社、宅配事業者などを装っています。

▼不安をあおる

「口座が凍結される」「アカウントが停止される」など不安や切迫感をあおる文面で偽サイトへ誘導します。

▼マルウェア感染

セキュリティアプリを装ったマルウェアをダウンロード、インストールさせられるケースもあります。

“ふっしんぐ”撃退6箇条

- ① メール本文に貼られたURLリンクにはアクセスしない。
- ② サイトへのアクセスはブラウザまたは公式アプリから。
- ③ ID、パスワードの使い回しをしない。
- ④ アカウントに多要素認証(二段階認証や生体認証など)を設定する。
- ⑤ 異なる環境からログインされた場合の通知を有効に設定しておく。
- ⑥ クレジットカードやインターネットバンキングの利用明細をこまめに確認する。



課長のつらやま

最近のフィッシング詐欺、本物と見分けがつかないほど巧妙で、なかなか手ごわい。あの手この手で、私たちを“釣ろう”としてきます。メールのリンクやSMSの案内、ついクリックしたくなるような誘い文句……まさに現代の“サイバー釣り”です。

ちなみに、私の趣味も“フィッシング”(もちろんリアルな方)ですが、海で釣れるのは魚。でも、サイバーの世界では引っかけた人間が釣られてしまいます。

見慣れないメールやSMS、怪しいリンクはむやみに触らず、ネットの海で、うっかり釣られないよう、冷静な判断を。



フィッシングサイトを見破るのは困難なり!



アクセス心ねのが一番の防犯と心得よう!

